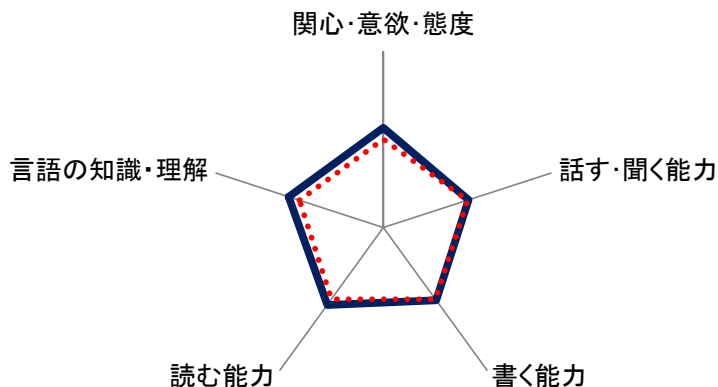


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

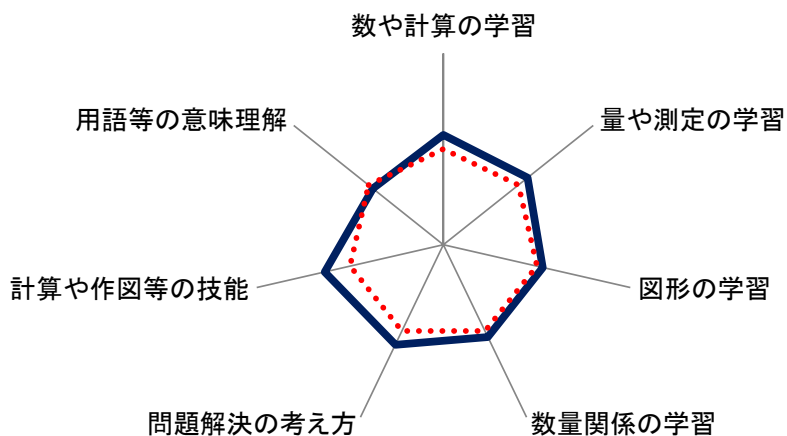
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

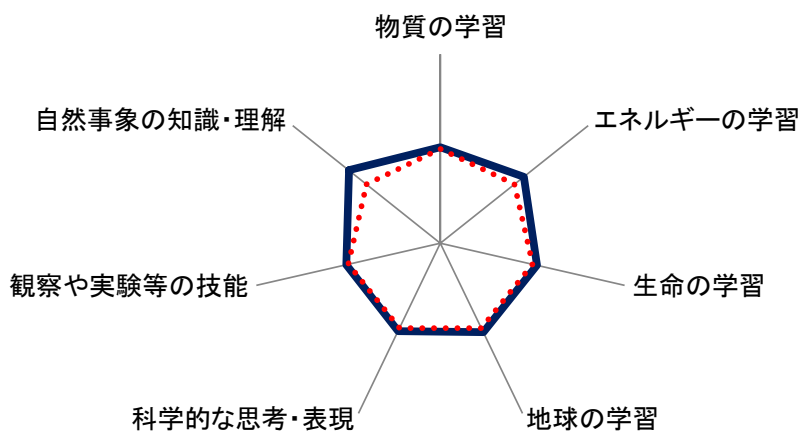
— 県平均  
..... 全国平均



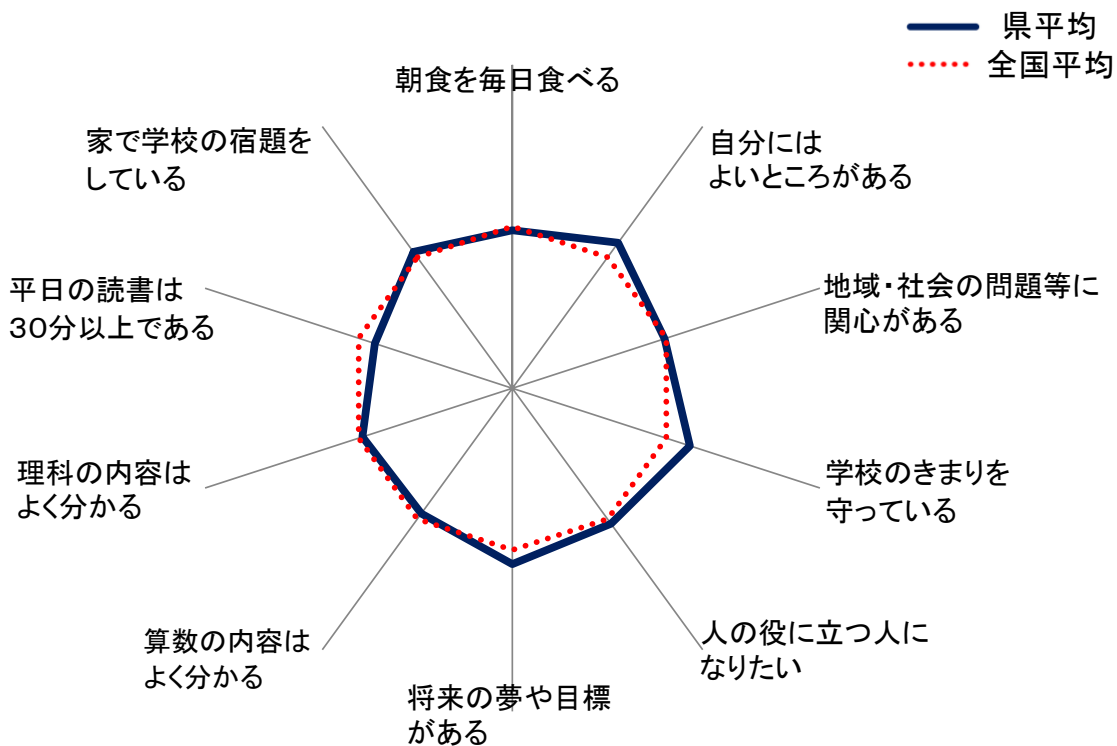
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

国語、理科は全ての項目で、算数は「用語等の意味理解」以外の項目で全国平均を上回っており、教科に関する調査結果は良好である。特に算数では「計算や作図等の技能」、理科では「自然事象の知識・理解」の各項目が全国平均を大きく上回っている。今後、更なる授業改善や家庭学習の充実等の取組により、知識と活用のバランスのとれた学力を育成していく必要がある。

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」や「将来の夢や目標がある」などの項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っており、自尊感情に関してよい傾向を示している。反面、良好な学力の結果にも関わらず、「算数、理科の内容がよく分かる」の項目は全国平均を下回っており、授業理解に関して課題がある。「平日の読書は30分以上である」の項目では、本年度も全国平均を下回ったものの、昨年度の県平均を大きく上回り、読書時間の確保に関して改善が見られる。良好な自尊感情等を学習に対する意欲付けに生かし、「楽しい授業、分かる授業」が実践できるよう授業改善に取り組むとともに、引き続き、みきゃん通帳を効果的に活用するなどして、一人一人の児童に応じた読書活動の充実を図る必要がある。